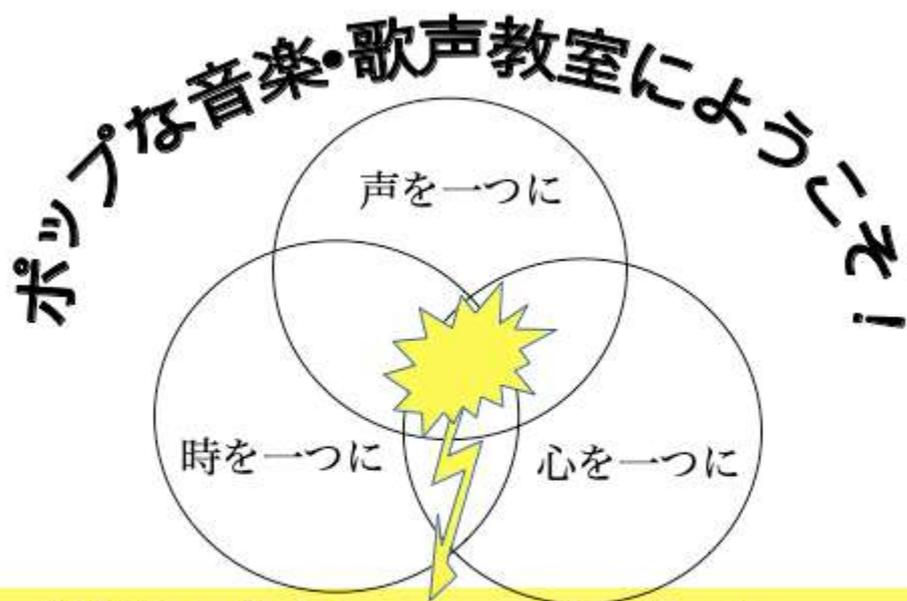


音楽・歌声教室 テキスト



音楽の力:Power of Music

Ver.1.0 鈴木麻美・藤森潤一

1. ポップな音楽・歌声教室ってなに？

今回から私たちが担当させていただく教室の名前を、“音楽・コーラス教室”から“ポップな音楽・歌声教室”に、変えさせていただきました。

より一層、楽しい時間にしていきたいと思います。よろしくお願いします！

この教室のテーマは「斉唱(せいしょう): UNISON(ユニゾン)」「1つのメロディーをみんなで歌う」ことで生まれる連帯感と一体感を味わい、そして高揚感へとたどり着けたらと思います。

私たちはそれぞれ違う顔や体を持っているように、みんながユニークな声を持っています。この世にまったく同じ声はひとつとしてありません。それぞれの声がひとつのメロディの中に合わさって響きが生まれる時その響きの中で、自分とまわりのみなさんとの境目が溶けて混じり合っているような感覚が得られたら、とても気持ちよいことでしょうね！

しかし…もしかしてお気づきの方もいらっしゃるかもしれませんが、「同じメロディーを同じように歌う」って簡単なようでいて、実は結構難しいチャレンジかもしれません。でも実はそのチャレンジの中に、音楽的発見や学びがあるのです。

そこを面白い！とだけ思っていたら、こんなに嬉しい事はありません。

斉唱を基本にはしますが、教材には随所に、合唱など斉唱とは異なる表現方法を取り入れられるようになっています。

教材ビデオには2つの課題曲の概要と練習のポイントを説明していますが、それを参考に次に示す基本的な練習メニューに従って、自分のレベルに合った練習を工夫してみてください。

- 1.声を出すための準備体操
 - 2.分散和音による発声練習
 - 3.講師の歌を何度も、繰り返し聴いたり、一緒にうたったりして「コピー」する。
それを覚える。
 - 4.カラオケ(ウスメロ)音源で歌ってみる
- ※DVDの内容は下図のようになっていますので、併せてご確認ください。

<メニュー画面>



講座の後半(第2回)はスタジオで行う予定ですがコロナの収束が見えない中では引き続きリモート学習になることも考えられます。たとえまだしばらく一緒に歌えなくても、ぜひお家で課題曲を磨いていてください。

コロナと共に生きる(with COVID-19)時代では、これまで楽しくできていた発表会ライブができるとは限らない状況になっています。

それぞれが自宅で録音した歌を集めて作品を作ります。

録音の手段などについては、検討中で、準備ができ次第お知らせします。

2. 歌いましょう 銀座かんかん娘

オリジナルは1949年(昭和24年)4月発売、高嶺秀子が歌っています。

教材は オリジナルと同じキーです。歌詞は4番までありますが、時間の関係でまずは2番までを覚えましょう。歌の指導者の中には歌詞は覚えるものとされている方が多いかもしれませんが、歌詞カードを見ながらでもかまいません。

まずメロディーをしっかり覚えていただきたいからです。教材をみながら一緒に歌ってください。教材は高嶺秀子とは違う感じ(専門用語ではノリとか、アーティキュレーションと言う意味ですが)で歌っていますが、できるだけそれを真似るようにしてください。[ここがポイント]

踊りだしたくなるような歌をうたいましょう。

第一目標である斉唱を整えるためには全員が同じ感じで歌えることが大切です。もちろん同じ斉唱でも荒々しい力強さを表現するために整えることを敢えてしない場合もあります。たとえばサッカーや野球の応援歌など。

参考1:銀座かんかん娘は当時米国で流行しはじめたビッグバンドジャズのスタイルを取り入れています。

そこで教材は小さな酒場で流行したブギウギ(Boogie Woogie)ジャズピアノ風アレンジしてあります。ジャズ独特の雰囲気親子んでみましょう。

参考2:ブギウギといえば”東京ブギウギ”はご存知の方も多いかと思います。

ジャズの先祖、ということはロックの先祖でもある音楽スタイルです。

3. 歌いましょう 見上げてごらん夜の星を

1963年(昭和38年)5月発売、坂本九が歌ったヒット音源(ここではこれをオリジナルと呼びます)を参考に、教材は女性でも無理なく歌えるキーに変更しています。オリジナルはミュージカルのテーマソングのような扱いでドラマチックな仕上がりになっています。またご存知のとおり復興支援でも取り上げられるなど、多くのドラマを、そして多くの演出がある曲です。そんな曲をさて、どう歌いましょうか？

私たちは、オリジナルとは反対にリラックスした、あえて喩えるなら賛美歌のような斉唱でこの曲を表現してみようと思いました。そこで珍しいゆったりとしたテンポのボサノバ(Bossa Nova)のリズムを取り入れてみました。感情表現を抑えることで秘めた力強さを表現しましょう。サビの”手をつなごう。。。”の部分は、練習のためにわかりやすいようにリズムをいれていますが、リズムなしで語るように表現できることを目指します。ゆったりしたテンポなので歌は1番だけにしました。

参考: ボサノバは料理に喩えるとカレーのように本国のものと似ているけど日本独自の味付けがされている音楽の代表と言ってもいいかもしれません。それだけでなくボサノバの母国ブラジルより本格的なボサノバも好まれている国と言われています。

以下はビデオあるいはリモートになる可能性があります。

第4回 ノリましょう 銀座かんかん娘

歌のノリを中心に練習します。

第5回 澄ましましょう 見上げてごらん夜の星を

歌の肌理を整えることを中心に練習します。

第6回 みんな一緒に歌いましょう！